

2013年1月17日

「JIS K 8491 2,6-ジブromo-*N*-クロロ-*p*-ベンゾキノノンモノイミン」
に関する安全性情報（廃棄）について

2,6-ジブromo-*N*-クロロ-1,4-ベンゾキノノンモノイミン（JIS K 8491, 2,6-ジブromo-*N*-クロロ-*p*-ベンゾキノノンモノイミン，特級）の廃棄に関しては、廃棄専門事業者に依頼する。

また、製品を廃棄事業者に渡す際には、溶媒（アルコールなど）で希釈したものを渡すほうがより安全性が高く、輸送上も安全である。

なお、溶媒に溶かしたものを焼却すると、有毒ガス（塩素ガス、臭素ガス、亜酸化窒素ガス、ダイオキシン類似化合物等）が生成するので、通常のドラフト内で行うと密閉性が不足して、有毒ガスが室内に漏れる恐れがあり、ヒトに対して大きなリスクが生じるので、行ってはならない。

また、骨格を分解する目的で、水酸化カリウムなどでアルカリ溶融を行うと、アルカリ溶融の際の加熱で、爆発のリスクが高くなり、非常に危険であるため行ってはならない。

（一社）日本試薬協会
安全性・環境対策委員長
規 格 委 員 長